

(2) 施策の方針

第1章 人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち

分野(2) 人権

施策の方針① 人権施策の充実

<目標とすべきまちの姿>

人権問題が複雑・深刻化するなかで、「かまくら人権施策推進指針」に基づく施策の充実や、学校・家庭・地域間の緊密な連携により人権教育を推進することで、だれもが市民として尊重され、あらゆる分野への参画ができる社会になっています。

特に、行政、市民、地域社会、事業者など社会全体で男女共同参画社会の形成に取り組むことで男女共同参画の意識が根付き、子育て・介護などの家庭責任の男女間での分担、労働環境の向上、地域社会での助け合い、支え合いが実現しています。

1 事業評価結果一覧表

経営企画部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
経企-19	男女共同参画推進事業	3,467	11,056	1.0	b	B
経企-20	人権啓発事業	2,561	7,114	0.6	b	B

2 平成26年度末の目標

経営企画部

改訂人権施策推進指針を丁寧に進行管理するとともに、幅広い世代の市民に対し人権意識の啓発に努める。庁内各課に男女共同参画の理念を浸透させるとともに、市民や事業者に対する周知活動を継続する。あわせて女性相談の充実に努める。

3 平成26年度の取組の評価

経営企画部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

市民や職員等への人権意識の啓発に努めるとともに、人権擁護委員が相談業務により困難を抱える人たちを支援したほか、未就学児の人権教育に取り組んだ。かまくら人権施策推進委員会を1回開催し、改訂人権施策推進指針の進行管理を行った。かまくら男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」との協働により、フォーラム、セミナーを開催したほか、情報紙「パスポート」を発行し、女性の活躍促進、仕事と生活の調和に向けた啓発を進めた。

4 今後の方向性

経営企画部

人権尊重の意識をさらに啓発していくため、これまでの手法に加え、さらに効果的な手法を検討していく。鎌倉市における審議会等への女性委員の登用推進要綱について周知を図り、一方の性に偏った委員構成とならないよう各担当課へ働きかけていく。また、引き続き、市民との協働により男女共同参画社会実現のための啓発事業を実施していく。

5 平成27年度末の目標

経営企画部

引き続き人権尊重の意識を啓発するため、講習会の開催や参加、人権メッセージ展、街頭啓発活動等を人権関係団体と連携して実施していく。
市民が関心を持つよう講座内容を工夫し、講座参加者を増やすことにより、男女共同参画の意識について啓発を進めていく。あわせて、女性相談の充実に努める。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

・男女共同参画社会、人権啓発活動のため、「アンサンブル21」「人権擁護委員」と協働し、講演会、相談業務などの啓発事業を行ったこと。

2 課題・提言

・男女共同参画では、結果の平等よりも入り口の平等の視点を持つべきである。
・人権啓発は重要な施策と考えられるが、より効果的な手法を検討するとしつつ、その内容があきらかでなく、今後期待したい。
・子ども、女性、障害者、高齢者でもすべての人々の人権が保障される地域社会となる実現をめざしてほしい。